



【2019-04-17】

遊道楽歩（雑感）

書を友に、酒を楽しみ、
人生を味わう

今週の雑感
近所の花見もよいものだ

長野修二

近所の花見もよいものだ

花見の季節になると、なんだか心がわくわくするようになります。例年、花見のみどころへ出かけることもありましたが、どこも混んでおり、ゆっくりとお弁当を食べる気分になりません。

子供たちが小さな間は、近隣の公園に車で出かけて花見をしていましたが、その場所に桜はありますが花見をするほどすばらしい桜の花が咲いていたわけではありません。

あくまでゆったりとお弁当を広げて家族みんなで食べるのが本当に楽しいものでした。

車で行くので、当然ですが、お酒は飲めません。

ちょっとしたピクニックといったところでしょう。

この時期大きな桜がある場所は、どこも人で混雑しており、桜の花をみて早々に帰宅するばかりです。

わが家の人間は、混んでいるところが苦手でこういうところへどっぷりと参加しないのが普通です。

少し遠出して誰もいない場所で桜の花が咲いているを見ることはあっても、ニュースになるような花見の場所へいくことはほとんどありません。

そう言えば、妻の実家がある中目黒の桜も、この頃みることはありませんね。

妻は、この季節は実家に帰りたがりません。

この賑わいは自分の育ったところではないと、言います。

人で賑わう季節ですが、そんなわけでわが家はこの季節少しばかり寂しくもあります。

わが家はこんな寂しい季節だったのですが、昨年マギーがわが家にやってきて近所の公園を散歩していたら、公園の桜も大きく育ち、見事な花を咲かせているではありませんか。

来年、ここでお花見ができるねと、妻が言います。

私もこんな身近に素晴らしい花見ができる場所があるとはと、改めて感動しました。

この公園の桜は、引っ越してきた当時、まだ植えられたばかりでかぼそい木でしたが、約30年経ち見事な大木に成長していました。



あまりに身近にあるため長い間行くこともなく、わが家では知らんぷりをしていましたが、人も木も長い間に見事に成長するものです。

今年は、桜の花が満開の中でお弁当を食べることができました。歩いていけるので缶ビールをもっていける手軽さです。



灯台下暗しとはよくいったものです。

人間とは、いかに浅はかな生き物でしょうか。

マギーのおかげで幸せな花見ができたことはいうまでもありません。

げんきなもの、バカな私は、また来年の花見が楽しみになるのです。